

【正誤表】

p.5-12

表 5-2-4-1 調査期間

地点番号	実施時期の種別	調査日	調査頻度
01	工事前	平成 27 年 2 月 12 日	1 回
	工事中	平成 29 年 2 月 10 日	年 1 回
02	工事前	<u>平成 29 年 2 月 14 日</u>	1 回

※工事開始は土留め工の開始時期としている。

表 5-2-4-1 調査期間

地点番号	実施時期の種別	調査日	調査頻度
01	工事前	平成 27 年 2 月 12 日	1 回
	工事中	平成 29 年 2 月 10 日	年 1 回
02	工事前	<u>平成 29 年 2 月 1 日</u>	1 回

※工事開始は土留め工の開始時期としている。

誤

正

表 5-3-5-1 調査結果（地盤沈下）

地点番号	市町村名	所在地	平成 28 年		平成 29 年		最大変位	
			11 月	12 月	1 月	2 月		3 月
01	名古屋市 中区	三の丸	12.931m	12.930m	12.930m	12.930m	12.930m	1 mm
			12.594m	12.594m	12.594m	12.594m	12.593m	1 mm
			<u>15.629m</u>	<u>15.630m</u>	<u>15.629m</u>	<u>15.632m</u>	<u>15.630m</u>	3 mm
			<u>16.447m</u>	<u>16.448m</u>	<u>16.448m</u>	<u>16.449m</u>	<u>16.446m</u>	2 mm
02	名古屋市 中村区	名駅	-	-	-	1.278m	1.279m	1 mm

※表内の数字は、測量標による地盤高(+T.P.)を示す。
 ※最大変位は、最初に測定した地盤高を基準として算出した。

表 5-3-5-1 調査結果（地盤沈下）

地点番号	市町村名	所在地	平成 28 年		平成 29 年		最大変位	
			11 月	12 月	1 月	2 月		3 月
01	名古屋市 中区	三の丸	12.931m	12.930m	12.930m	12.930m	12.930m	1 mm
			12.594m	12.594m	12.594m	12.594m	12.593m	1 mm
			<u>16.447m</u>	<u>16.448m</u>	<u>16.448m</u>	<u>16.449m</u>	<u>16.446m</u>	3 mm
			<u>15.629m</u>	<u>15.630m</u>	<u>15.629m</u>	<u>15.632m</u>	<u>15.630m</u>	3 mm
02	名古屋市 中村区	名駅	-	-	-	1.278m	1.279m	1 mm

※表内の数字は、測量標による地盤高(+T.P.)を示す。
 ※最大変位は、最初に測定した地盤高を基準として算出した。

誤

正

誤

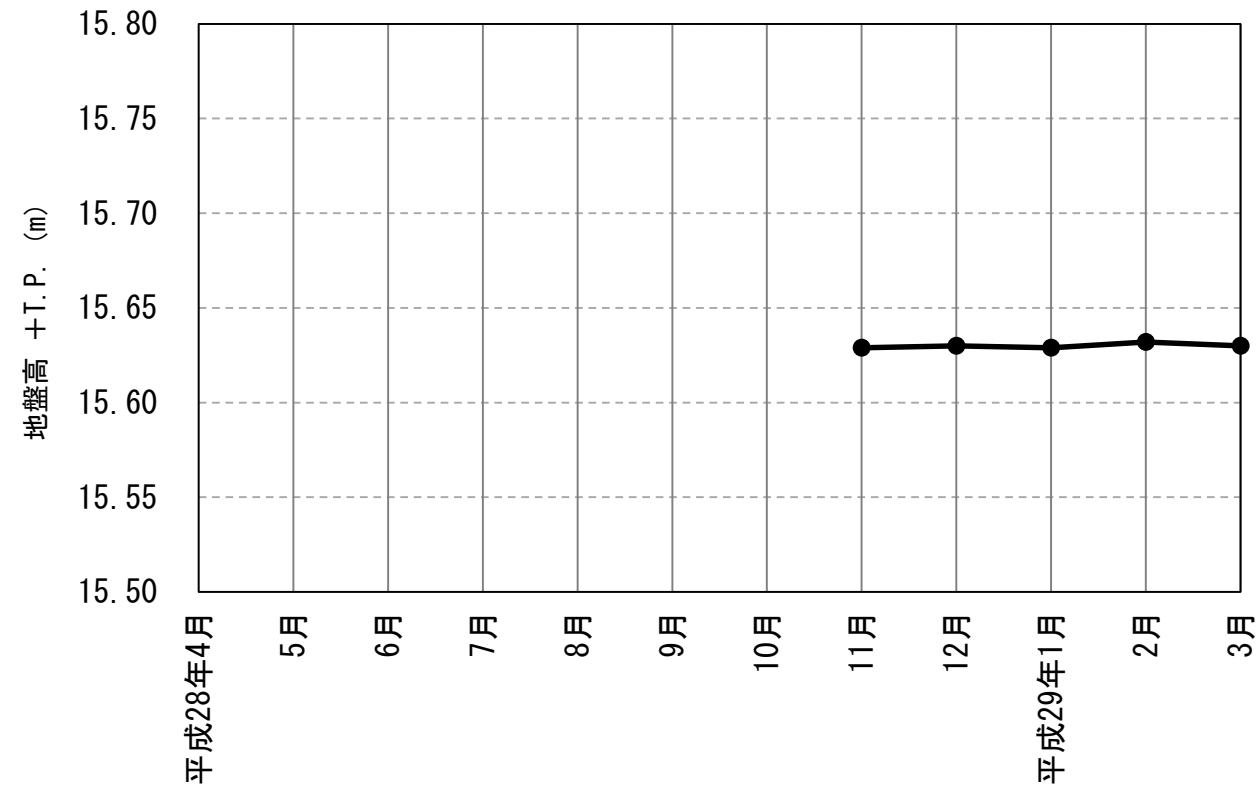


図 5-3-5-1(3) 調査結果 (地点番号:01-3)

正

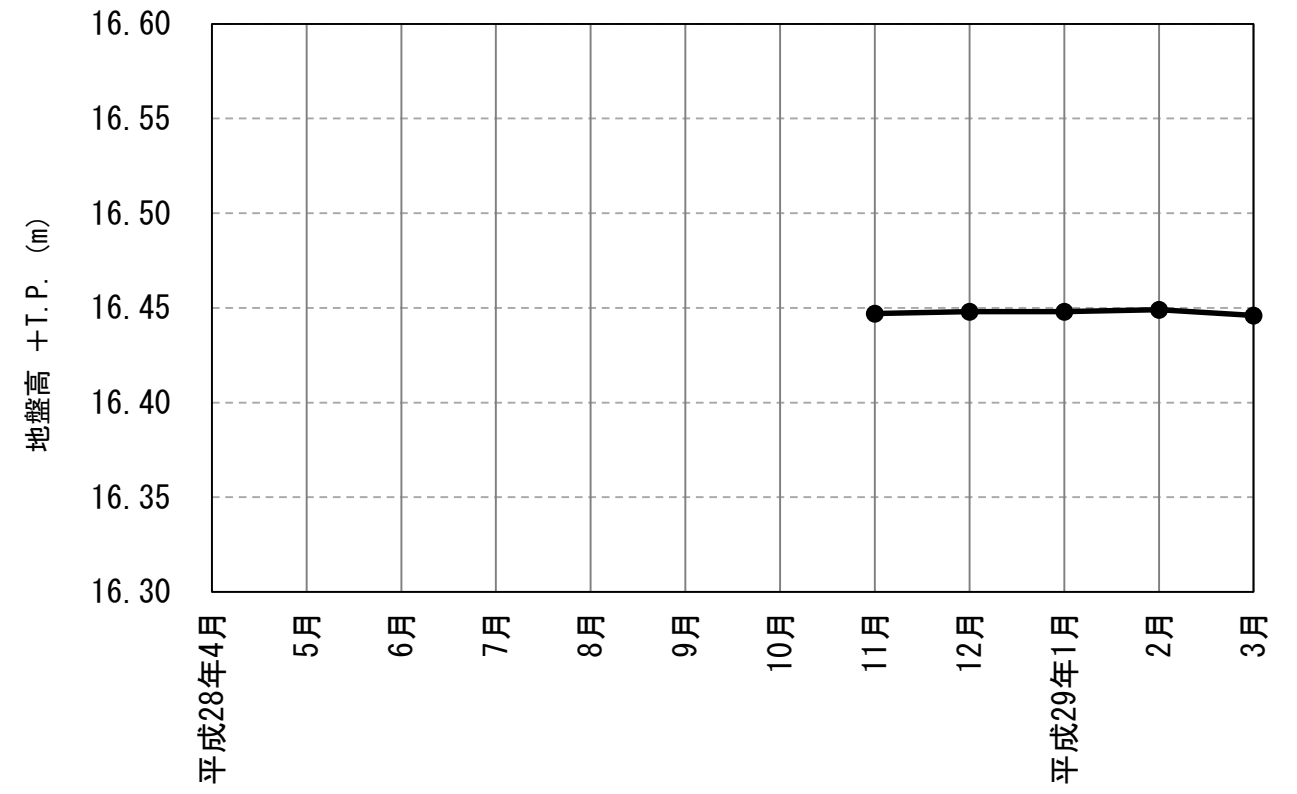


図 5-3-5-1(3) 調査結果 (地点番号:01-3)

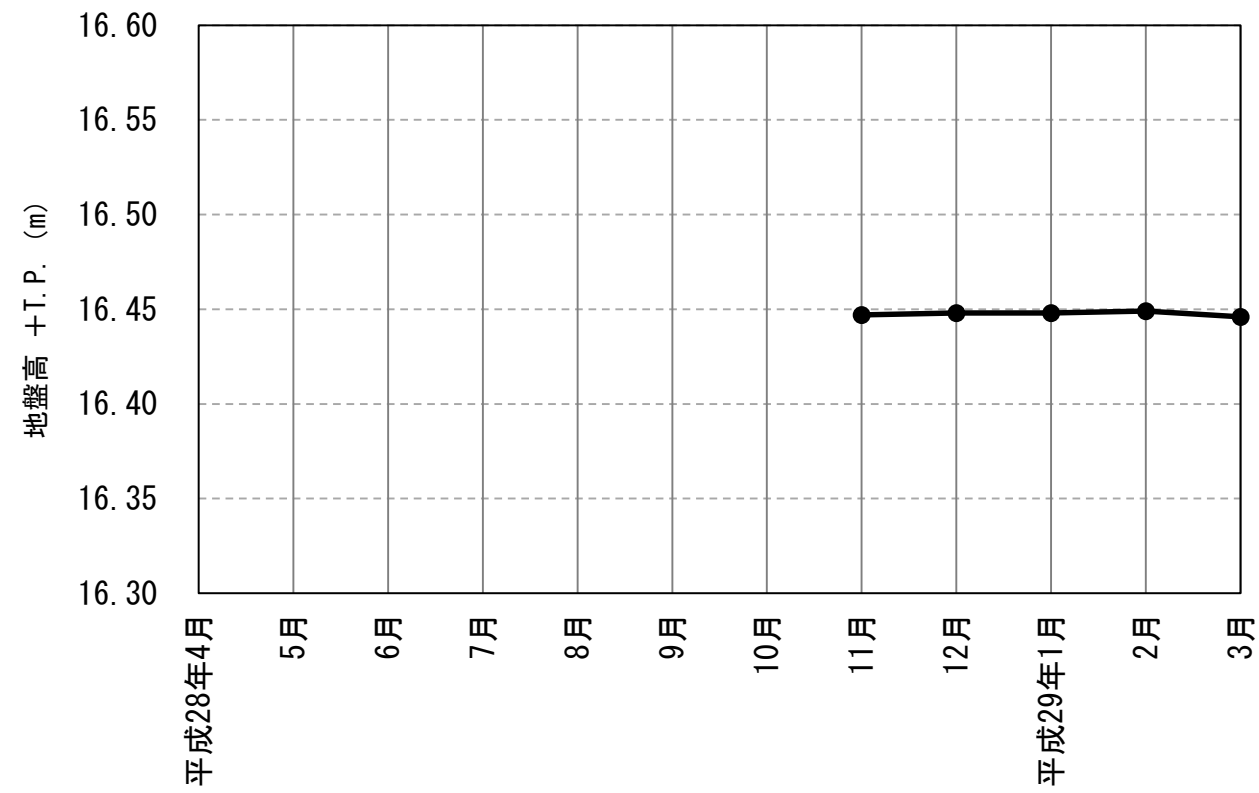


図 5-3-5-1(4) 調査結果 (地点番号:01-4)

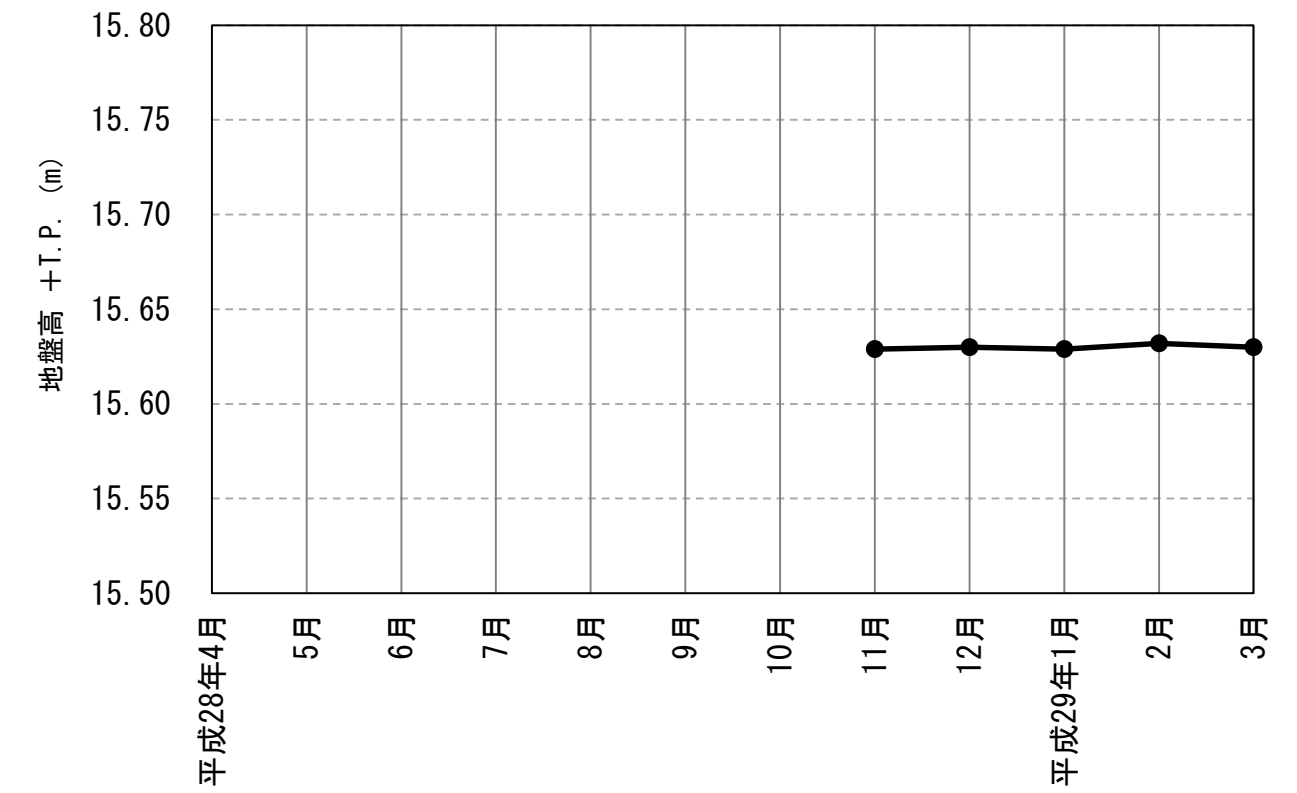


図 5-3-5-1(4) 調査結果 (地点番号:01-4)

表 5-6-5-3 副産物の再資源化量及び再資源化率

主な副産物の種類	単位	再資源化量		再資源化率		
		平成 28 年度	合計	合計	予測結果	
建設廃棄物	建設汚泥	m ³	2,775	2,775	90%	-
	コンクリート塊	m ³	565	565	100%	100%
	アスファルト・コンクリート塊	m ³	27	27	100%	100%
	廃プラスチック	t	1.37	1.37	70%	-
	木くず	t	102	102	100%	95%

※「再資源化量」の定義は以下の通りとする。
 ・コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊：再資源化された量と工事間利用された量の合計
 ・建設汚泥、木くず、廃プラスチック：再資源化及び縮減された量と工事間利用された量の合計
 なお、再資源化された量、再資源化及び縮減された量は、運搬先の施設ごとに、発生量にその施設における項目ごとの「再資源化された割合」、「再資源化及び縮減された割合」の実績値を乗じて推計した。
 ※「再資源化率」の「合計」はそれぞれの項目について「再資源化量」を「発生量」で除した値（再資源化率または再資源化・縮減率）を示す。
 ※「再資源化率」の「予測結果」は「あいち建設リサイクル指針」を参考に目標値を記載した

表 5-6-5-3 副産物の再資源化量及び再資源化率

主な副産物の種類	単位	再資源化量		再資源化率		
		平成 28 年度	合計	合計	予測結果	
建設廃棄物	建設汚泥	m ³	2,775	2,775	90%	-
	コンクリート塊	m ³	656	656	100%	100%
	アスファルト・コンクリート塊	m ³	27	27	100%	100%
	廃プラスチック	t	1.37	1.37	70%	-
	木くず	t	102	102	100%	95%

※「再資源化量」の定義は以下の通りとする。
 ・コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊：再資源化された量と工事間利用された量の合計
 ・建設汚泥、木くず、廃プラスチック：再資源化及び縮減された量と工事間利用された量の合計
 なお、再資源化された量、再資源化及び縮減された量は、運搬先の施設ごとに、発生量にその施設における項目ごとの「再資源化された割合」、「再資源化及び縮減された割合」の実績値を乗じて推計した。
 ※「再資源化率」の「合計」はそれぞれの項目について「再資源化量」を「発生量」で除した値（再資源化率または再資源化・縮減率）を示す。
 ※「再資源化率」の「予測結果」は「あいち建設リサイクル指針」を参考に目標値を記載した

誤

正

誤	表 5-7-5-1 温室効果ガスの排出量 (CO₂換算) (単位:tCO₂)				
	区分		温室効果ガス (CO ₂ 換算) 排出量		予測結果
			平成 28 年度		
			小計	行為別合計	
	建設機械の稼働	燃料消費 (CO ₂)	206	232	1, 080, 000
		燃料消費 (N ₂ O)	2		
		電力消費 (CO ₂)	24		
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	CO ₂	289	290	
		CH ₄	0		
		N ₂ O	1		
建設資材の使用	CO ₂	2, 661	2, 661		
廃棄物の発生	焼却	CO ₂	25	31	
		N ₂ O	0		
	埋立	CH ₄	6		
CO ₂ 換算排出量の合計			3, 214		
※予測結果は評価書に記載している数値から名古屋市分を再計算したものである					

正	表 5-7-5-1 温室効果ガスの排出量 (CO₂換算) (単位:tCO₂)				
	区分		温室効果ガス (CO ₂ 換算) 排出量		予測結果
			平成 28 年度		
			小計	行為別合計	
	建設機械の稼働	燃料消費 (CO ₂)	206	232	1, 080, 000
		燃料消費 (N ₂ O)	2		
		電力消費 (CO ₂)	24		
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	CO ₂	189	190	
		CH ₄	0		
		N ₂ O	1		
建設資材の使用	CO ₂	2, 661	2, 661		
廃棄物の発生	焼却	CO ₂	25	31	
		N ₂ O	0		
	埋立	CH ₄	6		
CO ₂ 換算排出量の合計			3, 114		
※予測結果は評価書に記載している数値から名古屋市分を再計算したものである					